

# 栃木県原水協ニュース

No 211号 2021年2月1日  
 原水爆禁止栃木県協議会  
 〒321-0138 宇都宮市兵庫塚3-10-30  
 栃木県労連気付 電話 028-653-1401  
 メールアドレス: tcgken-gensuikyo@outlook.jp

## 核兵器は禁止されました！日本政府は署名・批准を

### 核兵器禁止条約発効 記念街頭宣伝行動

核兵器禁止条約の発効を記念して県内各地で宣伝行動が行われました。

栃木市では22日午後3時から市役所前で24名の参加で、小山市では午後2時から小山駅東口前で、那須町でもスタンディング宣伝をしました。

栃木県原水協は宇都宮市で1月23日(土)12時半から二荒山神社前でスタンディングとマイクで核廃絶を訴えました。加盟団体のほか、市民が35人が参加しました。核兵器禁止条約の発効を祝い、何かしたいと今回初めて駆けつけた人もいました。

天谷静雄県原水協代表理事をはじめ、日本共産党、社会民主党、鹿沼原水協、日本共産党宇都宮市議団、新日本婦人の会の六人から訴えがありました。



宇都宮市二荒山神社前で挨拶する天谷氏

天谷氏からは「核兵器禁止条約が発効し、核兵器保有国は違法の兵器を持つことよって道義的に追い詰められる。非核地帯が世界に広がり、核戦略の手を縛ることもつながる。核兵器をなくすのは核兵器に依存する国民と世界の連帯した市民運動にかかっている。核兵器のない世界を共に展望しよう」と呼びかけ、「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」を大いに広げようと訴えました。



社会民主党栃木県連合幹事長・星孝典氏は「核兵器禁止条約で、使用禁止から廃絶へと一歩進んだ。これからも力を合わせながら、政党や運動体の垣根を越えて一緒にやってゆきましょう。これを世界に広げ、唯一の被爆国である日本政府にも禁止条約に署名・批准をさせるように共に頑張りましょう」と挨拶しました。



日本共産党栃木一区国政対策委員 長・青木ひろし氏は「被爆国である日本が条約に批准しないのは、日米軍事同盟にしがみついているから。政権交代で核禁条約に批准する日本をつくらう」と訴えました。

那須町で核兵器禁止条約に批准する政府の実現を！と訴え  
 那須町でも核兵器禁止条約発効の22日、市民団体メンバーが横断幕を掲げて核兵器廃絶の想いを訴えました。女性同士が「掛け合」いで面白おかしく訴えかける場面もありました。



那須町では数年前から、毎月この場所で核廃絶を訴える署名行動を続けてきました。



栃木市役所前スタンディング

### 日本政府は核禁条約に署名・批准を！



広島で入市被爆した那須烏山市在住小松宏生さんに核兵器禁止条約発効に際しての想いを寄せていただきました。

1月22日、いよいよと言うかやつとと言うか核兵器禁止条約の発効が実現しました。

以前から署名運動の場を見たり聞いたりする度に胸が痛んでいたのです。どんなに国民が必死に訴えても、肝心の日本政府がまるでそっぽを向いていることに唯々腹が立っていました。唯一、核爆弾を落とされ大被害を被った国ですよ。世界中の笑いものになりますよね。私も広島の被爆者です。父や祖母、伯母、中学一年生のいとこを一瞬に奪われました。父は原爆ドームの隣にあった会社でビルごと吹き飛ばされたので、炎天下を何日も探

しましたが見つからず、結局、遺骨もないままです。

私は国民学校(小学校)の六年生。いとこは一年以上上だったので中学生。そのため市内の建物疎開の片付けに学徒動員で働いていました。そして遂に遺体も見つからずです。

国民の裾野の方でこんな想いをしていて大勢がいることを日本の為政者たちは知らないのでしょうか。核兵器はこの世の絶対悪です。このこと共に身にしみて知ってほしいです。

核兵器禁止条約が発効すると同時にこれからまた新しい戦いが始まるわけです。何としても日本政府に条約への署名を求めなければなりませんから。

### 2021年3・1ピクニテー集会 オンライン試聴会のお知らせ

日時：2月28日(日)  
 午前10時～12時  
 会場：県労連会議室